

【最終報告】

持続可能な食のまちづくり ～段位制度とふるさと納税を通して～

小浜市班



目次

1. 現状分析
 - a. 小浜市様に取り組んでいること
 - b. FWやヒアリングより
2. 課題
3. 理想状態
4. ウェルビーイング（前提）
5. 施策(段位制度・ふるさと納税)
6. ウェルビーイング（施策の効果）
7. まとめ

目次

1. 現状分析

- a. 小浜市様に取り組んでいること
- b. FWやヒアリングより

2. 課題

3. 理想状態

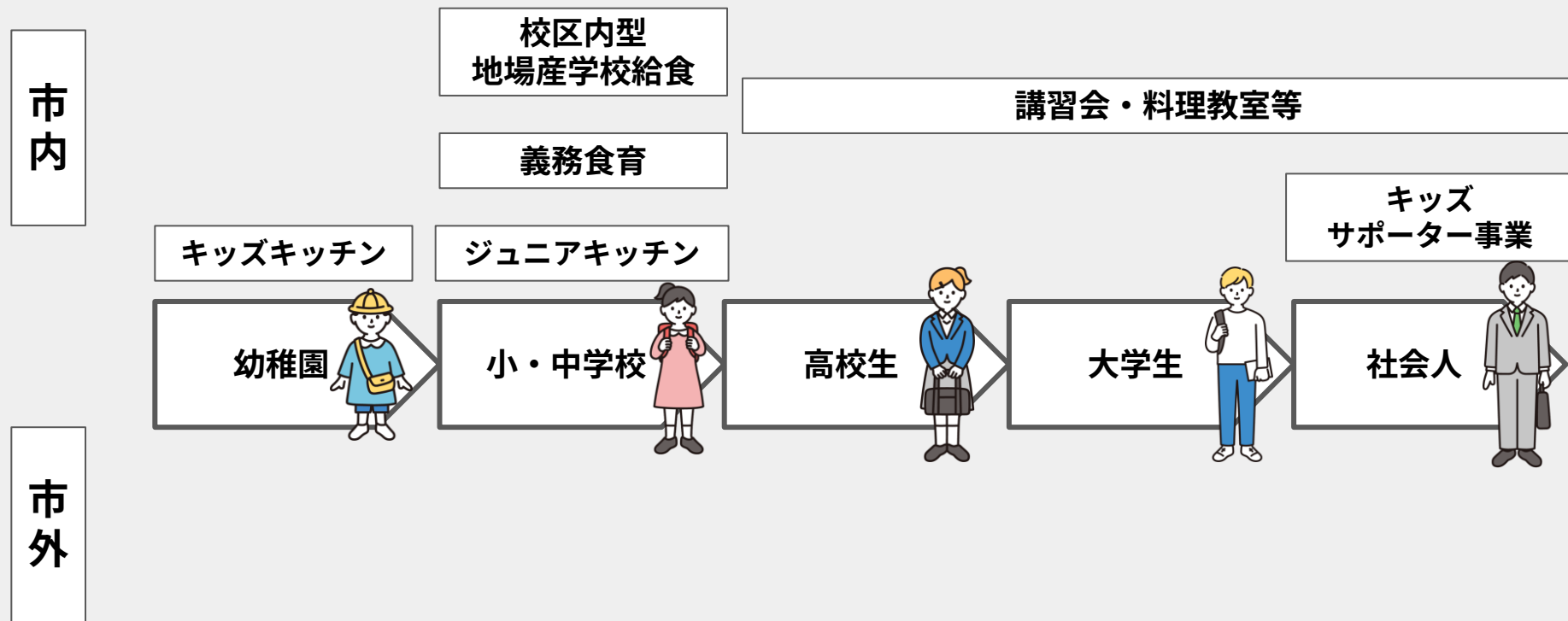
4. ウェルビーイング（前提）

5. 施策(段位制度・ふるさと納税)

6. ウェルビーイング（施策の効果）

7. まとめ

a.現状分析～小浜市様に取り組んでいること～



- ①小浜市内の住民には様々な施策が行われているが、各世代ごとに完結しているのではないか
- ②小浜市を離れてしまった人は食の文化からも離れてしまっているのではないか

b.現状分析～FWやヒアリングより～

- 大人の「食のまち」への意識は特に感じない（地域おこし協力隊）
 - 郷土料理に触れる機会は小中学校の家庭科の授業とキッズキッチンくらいであり、日常生活では機会はない（義務食育経験者）
 - 小浜市内の高校は2校のみであり、大学は福井県立大学の小浜キャンパスのみであり、進学や就職を機に市外に転出してしまう人が多い
- 小浜市との食を通じた「繋がり」を市外に移住しても持ってほしい

目次

1. 現状分析

- a. 小浜市様に取り組んでいること
- b. FWやヒアリングより

2. 課題

3. 理想状態

4. ウェルビーイング（前提）

5. 施策(段位制度・ふるさと納税)

6. ウェルビーイング（施策の効果）

7. まとめ

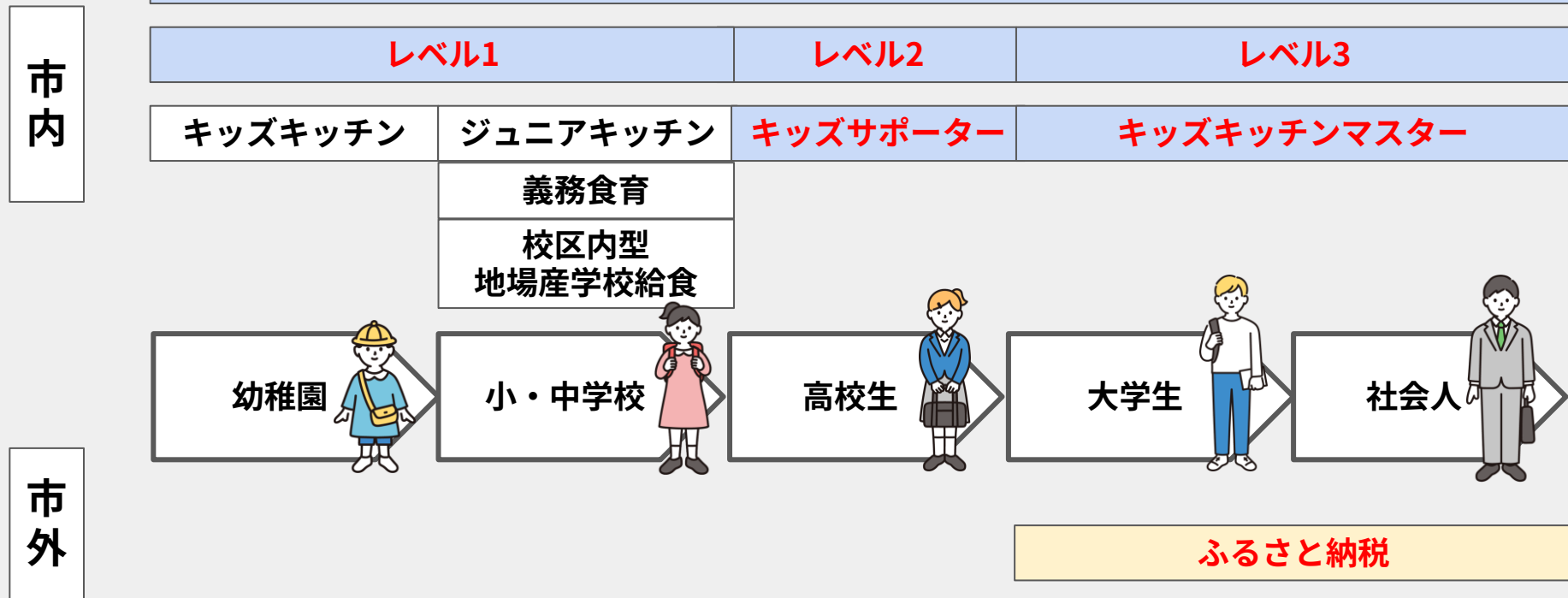
課題

若者世代の食への意識の定着度

若者世代（キッズキッチン経験者）へインタビュー

→食への興味が一時的になってしまっている

理想状態



持続可能な「食で人々の幸せと地域の豊かさが実感できるまち」の実現

目次

1. 現状分析
 - a. 小浜市様に取り組んでいること
 - b. FWやヒアリングより
2. 課題
3. 理想状態
4. ウェルビーイング（前提）
5. 施策(段位制度・ふるさと納税)
6. ウェルビーイング（施策の効果）
7. まとめ

ウェルビーイング（WB）【前提】

WB＝客観的WB＋主観的WB

→両方への働きかけが必要

▶客観的WB

全47都道府県幸福度ランキング
（日本総研）

福井県は6回連続の日本一

指標：基本指標（県民所得など）＋
分野別指標（健康、文化、仕
事、生活、教育）

など全85指標

※客観的なデータを基にしている

▶主観的WB

福井県長期ビジョンの実現に向けた県民アンケート調査（R6年度）

主観的WBとの相関が認められたもの

- ・ **地域の希望**を感じられる人ほど、WB高い
- ・ **地域への愛着や誇り**が強い人ほど、WB高い
- ・ 「住んでいる地域を、福井県外にお住まいの方に**自信をもっておすすめできる**」人ほど、WB高い
- ・ **寛容性（多様性の受け入れ）**が高い人ほど、WB高い

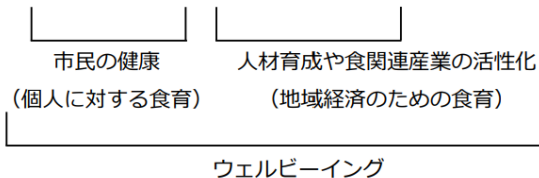
ウェルビーイング（WB） 【小浜市】

ポイント

- ①「食」を通してWBを高めることが小浜市の独自性であり強み
→食ありきのWB施策
- ②「人々の幸せ」＝**個人**のWB
「地域の豊かさ」＝**地域**の経済的なWB
→**両方必要であり、相互に高め合う関係**

小浜市のWB

食で**人々の幸せ**と**地域の豊かさ**が実感できるまち



食環境とウェルビーイングに関する調査（R6年度実施）

食とWBの関係について調査するため、50以上の質問を用意

ex.食事の際に手を合わせて「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしていますか

日常の食生活において、どのくらい地元食材を使用しますか

700人以上から回収済みであり、今後分析し有意性の有無を検証する予定

→質問を**指標**として用いる

目次

1. 現状分析

- a. 小浜市様に取り組んでいること
- b. FWやヒアリングより

2. 課題

3. 理想状態

4. ウェルビーイング（前提）

5. 施策(段位制度・ふるさと納税)

6. ウェルビーイング（施策の効果）

7. まとめ

施策案概要

施策①段位制度

施策②ふるさと納税



施策①

段位制度

施策①段位制度

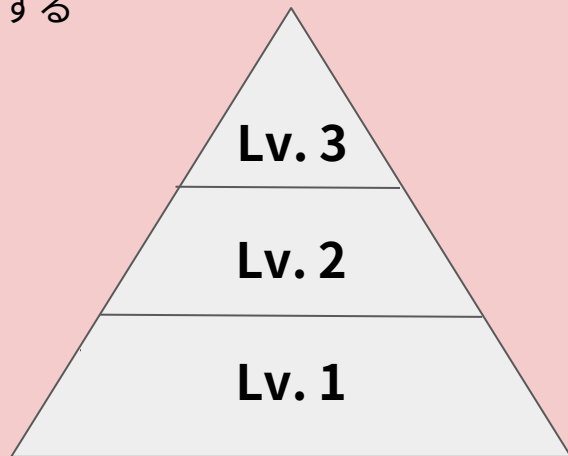
「1人1人が後世まで伝える小浜の食育」

施策概要

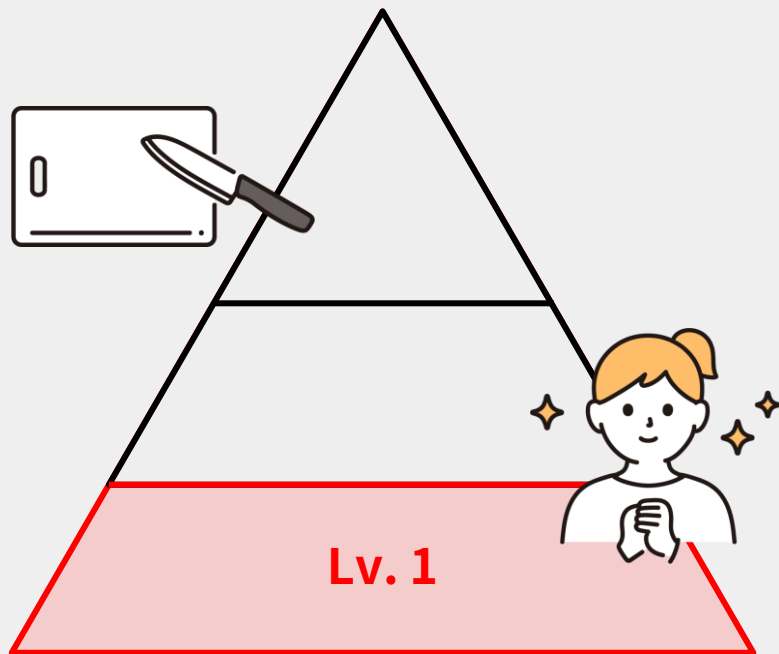
自分のレベルが上がっていることを実感しながら食育を継続することで、
地域・食に対するプライド(≒シビックプライド)の醸成をする

ターゲット

小浜市に住んでいる、または通学している全ての人々



施策①段位制度（レベル1）



中学校卒業時に全員が取得できる段位制度

①段位制度取得方法：

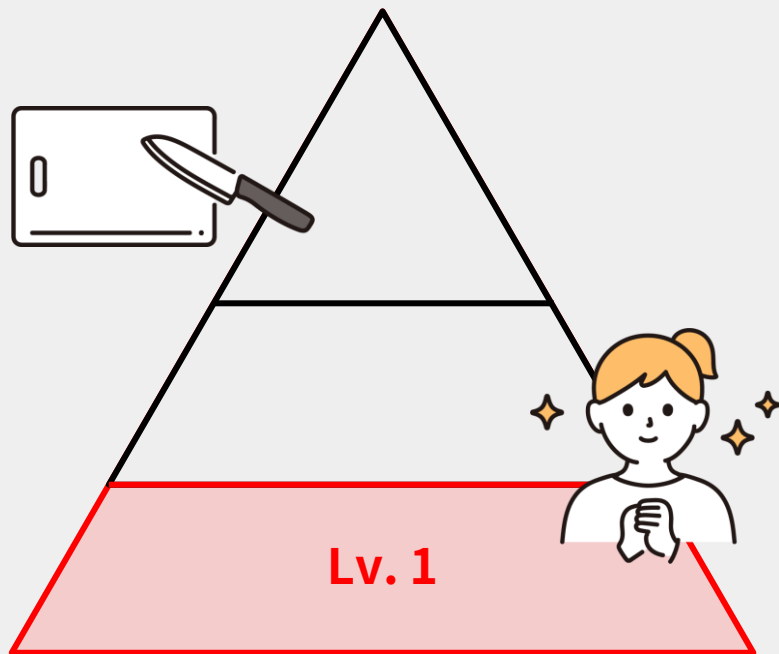
- ・キッズキッチン基礎編
- ・ジュニアキッチン
- ・義務食育

を修了すること

※授業内容は変更しない

1. 調理
 - a. 豆腐の切り方
 - b. 魚の捌き方
2. 食事
 - a. 箸の持ち方
 - b. 箸の使い方
3. 知識
 - a. 食のバランス
 - b. 小浜市の食の歴史 など

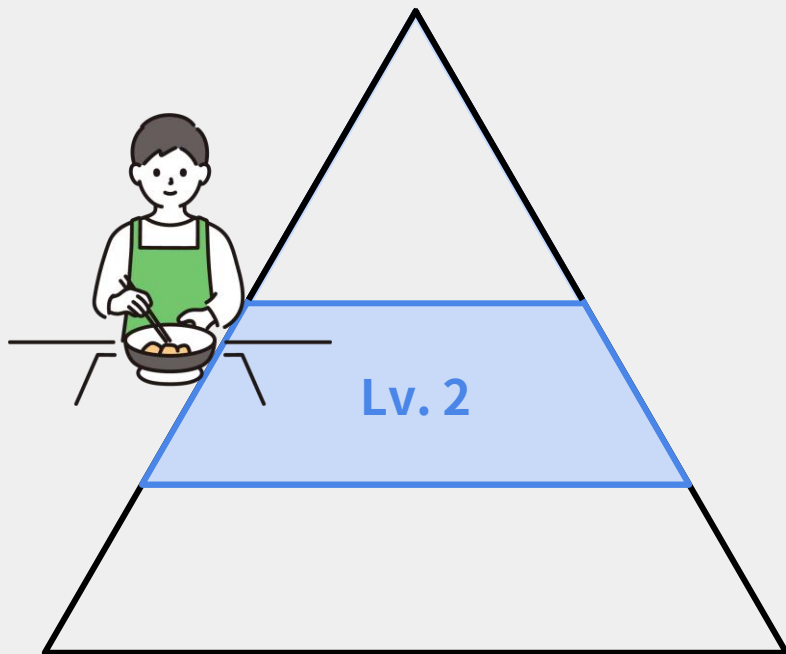
施策①段位制度（レベル1）



中学校卒業時に全員が取得できる段位制度

- ②段位制度取得対象：
小浜市の年長児～中学生
- ③段位制度設置目的：
食育は生涯にわたって続くものであり、
Lv.2・Lv.3に続く最初の一步と認識させる
- ④段位制度取得者に求められる能力：
自らのウェルビーイングを向上できる能力
- ⑤課題：
生涯食育の一環であることを強調する必要

施策①段位制度（レベル2）



高校生以上が取得できる段位制度

- ①段位制度取得方法：小浜市の**高校**において
独自の食育授業を受講
すること

※授業内容を一部変更

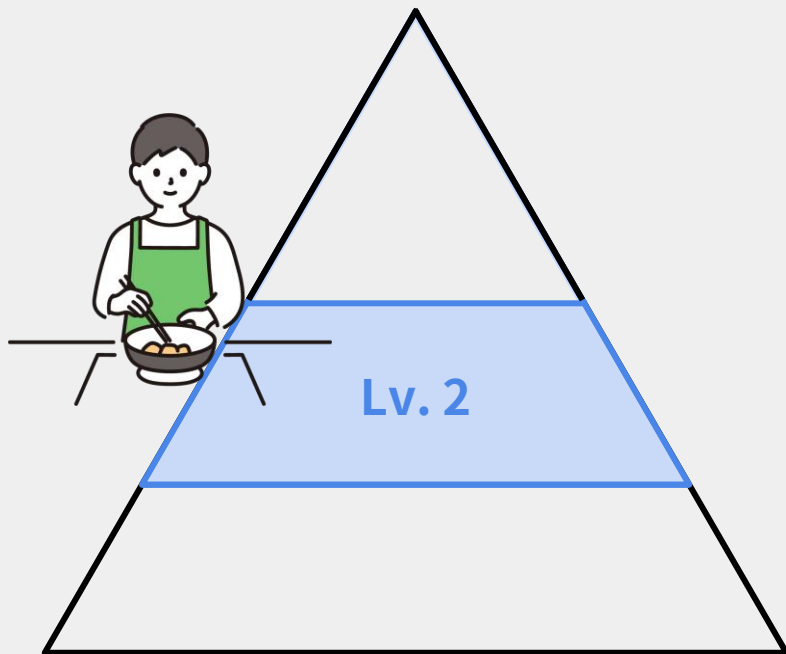
「キッズキッチンで職場体験」

【概要】

- ①高校の**家庭基礎の授業**に職場体験を取り入れる
- ②キッズキッチン基礎編及びジュニアキッチンに**高校生がキッズサポーター※**
として参加

※名称の詳細はLv.3にて説明

施策①段位制度（レベル2）



高校生以上が取得できる段位制度

【前提】1回15名の高校生が職場体験

①キッズキッチン等

①キッズキッチン基礎編

- ・受講対象者：年長児
- ・所要時間：90-100分
- ・サポーター数：8人
- ・年間開催回数：18-20回

②ジュニアキッチン

- ・受講対象者：小学6年生
- ・所要時間：45分から90分に変更
- ・サポーター数：5人
- ・年間開催回数：11回程度

②高校

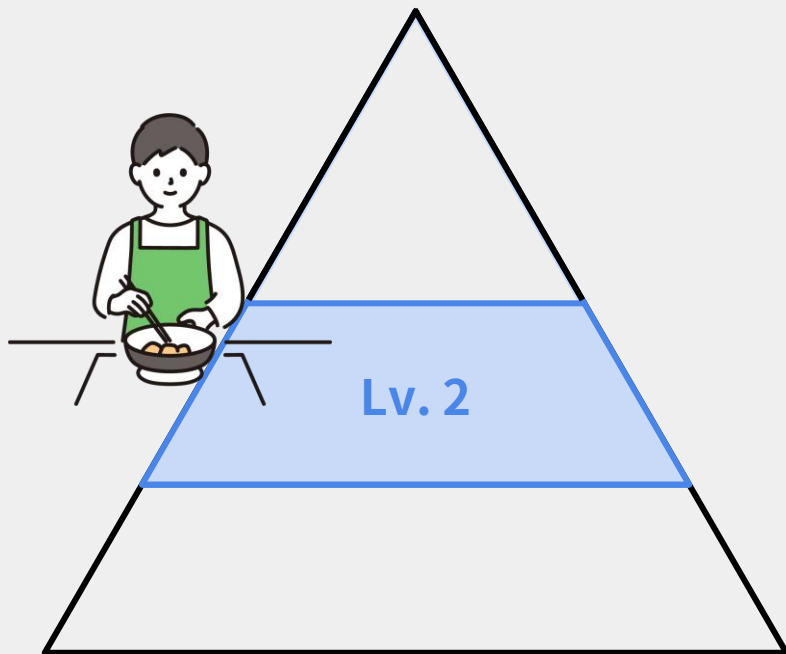
①県立若狭高校

- ・生徒数：250人/学年

②県立若狭東高校

- ・生徒数：120人/学年

施策①段位制度（レベル2）



高校生以上が取得できる段位制度

【詳細】

①1クラス合計4回（8時間）の授業

①授業1

- ・校内で食育授業
- ・キッズキッチンの見学

②授業2

- ・1クラス約30名全員を食文化館に
帯同
 - ・**15名**がキッズキッチンに入り**90分間職場体験**
 - ・残りの15名は見学及びグループワーク

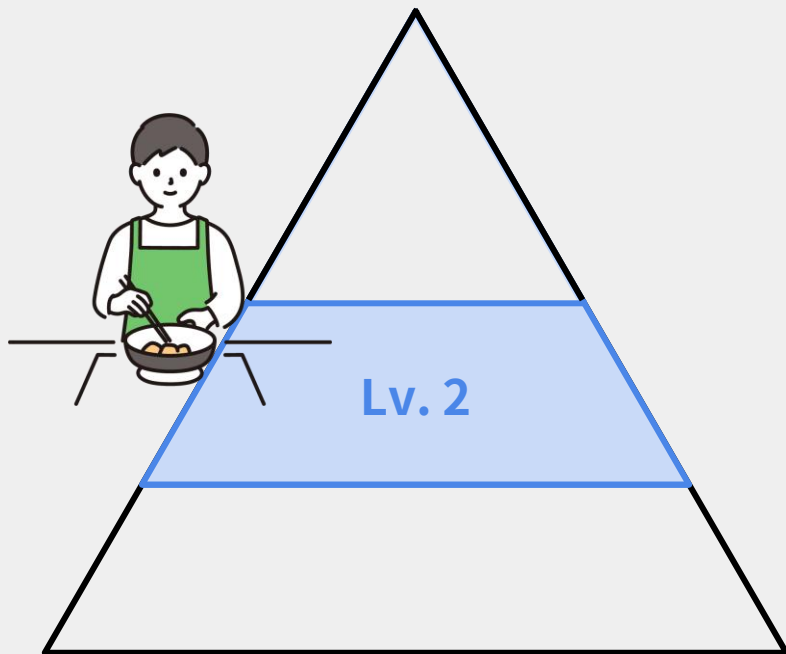
③授業3

（授業2と同じ）

④授業4

- ・振り返り

施策①段位制度（レベル2）



高校生以上が取得できる段位制度

- ②段位制度取得対象：小浜市の高校生
- ③段位制度設置目的：子供時代に受講したキッズキッチンで**子どもに教え、食育の楽しさ**を認識させること
- ④段位制度取得者に求められる能力：
→**周りのウェルビーイング**を向上できる能力
- ⑤課題：
 - ①カリキュラム変更の実現可能性
(各校と密な連携が必要)
 - ②現キッズサポーターの業務量の増加
(園児及び高校生を同時に指導する必要あり)
 - ③園児小学生への精神的負担の増加
(高校生15名も現キッズサポーターと同席するため)
 - ④キッチンスタジオのスペース不足
(高校生15名も現キッズサポーターと同席するため)

施策①段位制度（レベル2）

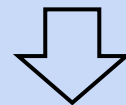


高校生以上が取得できる段位制度

⑥先行事例：県立若狭高校が**小学校へ出前授業**

2022年度、県立若狭高校は文部科学省マイスター・ハイスクール事業における取組の1つとして、小中学生を対象とした水産海洋教育を実施。

※当該事業は海洋科学科が主体であったため、その他の学科では出前授業は実施されていない



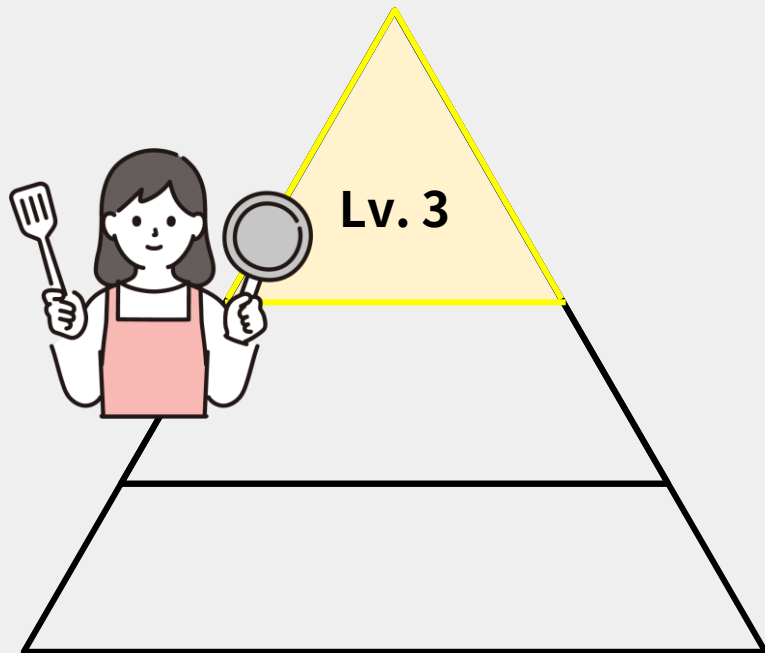
カリキュラムの中で小学生と関わる機会を設けることは可能！

【出典】

上：福井県立若狭高等学校（2023）「令和4年度 マイスター・ハイスクール事業報告書」

下：文部科学省（2023）「令和4年度マイスター・ハイスクール事業中間成果発表会を開催しました」

施策①段位制度（レベル3）

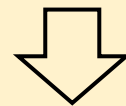


キッズサポーターが取得できる段位制度

- ①段位制度取得方法：
キッズキッチンで**運営**し、その方法を身に
着ける

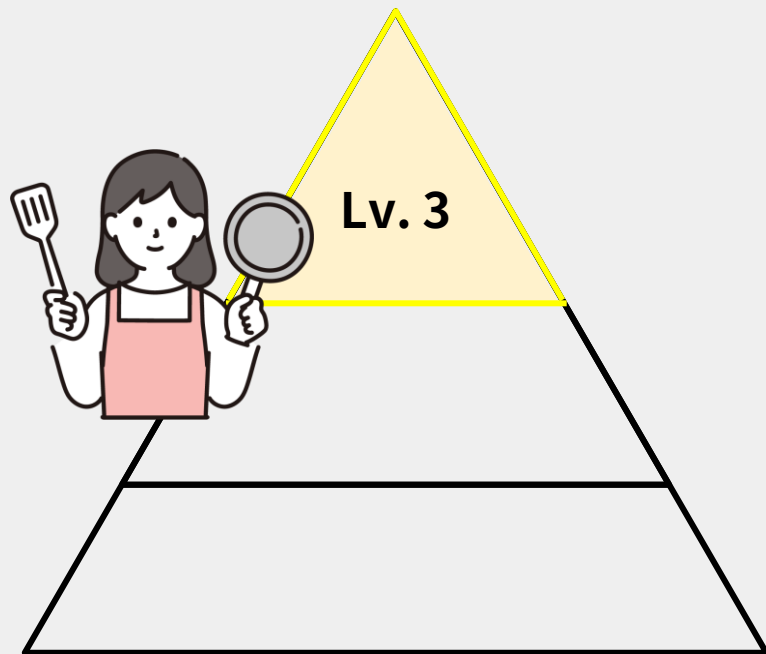
実習：キッズキッチンを実際に運営する
＋

筆記試験：運営方法
最低限の衛生管理方法
小浜の食文化 など



「キッズキッチンマスター」

施策①段位制度（レベル3）



キッズサポーターが取得できる段位制度

＜キッズキッチンマスターとは＞

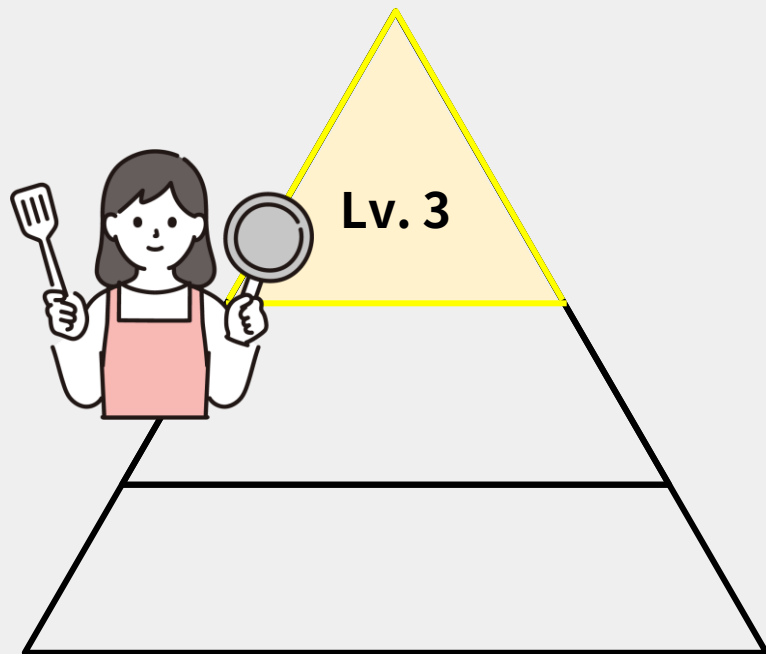
【現キッズサポーターとの違い】

- ・ 高校生への指導
- ・ 賃金：時給960円→1,100円→1,200円
（資金や状況に応じて増減）
→ふるさと納税の寄付金を充当
- ・ 筆記試験の実施

【Lv.2の新キッズサポーターとの違い】

- ・ キッズキッチンの運営
（資金・食材・衛生管理など）
- ・ 賃金
- ・ 元気食生活実践ガイドの配布

施策①段位制度（レベル3）



キッズサポーターが取得できる段位制度

- ②段位制度取得対象：大学生以上の小浜市民
（＝キッズサポーターを取得した方）
- ③段位制度設置目的：
生涯にわたって続く**食育を多くの方に広める**役割を担っていただく
- ④段位制度取得者に求められる能力：
市民のウェルビーイングを向上できる能力
- ⑤課題：キッズサポーターとの報酬の差別化

施策①段位制度

まとめ

自分のレベルが上がっていることを実感しながら食育を継続することで、
地域・食に対するプライド(≒シビックプライド)の醸成をする

```
graph TD; A[自分のレベルが上がっていることを実感しながら食育を継続することで、  
地域・食に対するプライド(≒シビックプライド)の醸成をする] --> B[個人に対する食育・地域経済のための食育]; B --> C[「持続的なつながり」  
「学ぶ、教える、実践する」の  
サイクルが生まれる]; B --> D[「居場所・舞台」  
「御食国」小浜での  
活躍の場];
```

個人に対する食育・地域経済のための食育

「持続的なつながり」
「学ぶ、教える、実践する」の
サイクルが生まれる

「居場所・舞台」
「御食国」小浜での
活躍の場

施策②

ふるさと納税

施策②ふるさと納税

「お家でできるキッズキッチン」

施策概要

小浜市ならではの食育のひとつである **キッズキッチン**を、野菜や魚など市の特産品を用いて **家庭で体験**できるようにする。

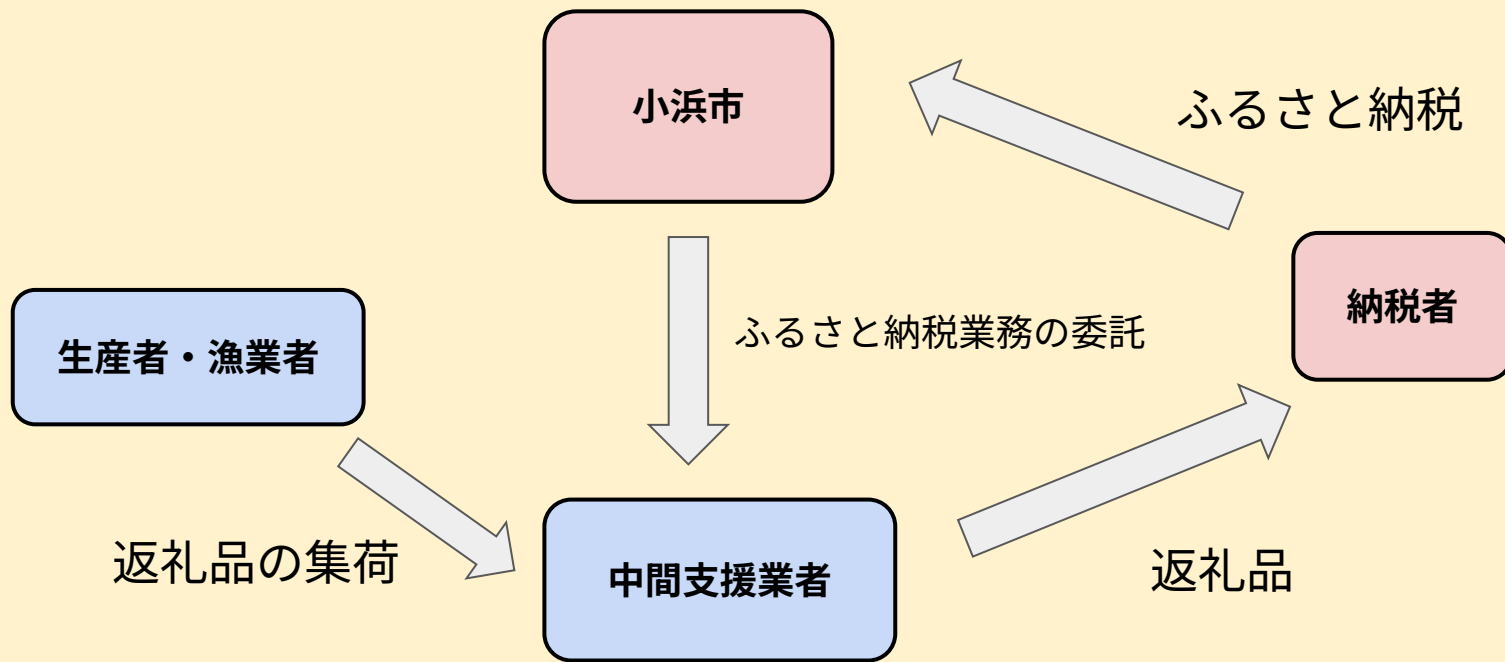
ターゲット

市外に住む30代(と彼らの子供たち)

2035年頃以降は「**小浜市に過去住んでおり、食育経験のある30代**」をメインターゲットに。
(2035年ごろに現在小浜市に住む食育経験がある世代が市外に出ると考えられるため)



施策②ふるさと納税



(株式会社スチームシップを想定)

施策②ふるさと納税

A.個人に対する食育に関して

食への意識が市外に普及することで**小浜市とのつながり**を感じてもらう



(小浜市の**関係人口**になり)人口減少化における地域の希望



住民にとってのウェルビーイング

B.地域経済のための食育に関して

小浜市外に移り住んだ人とのつながりの継続・地場産品の売上アップ

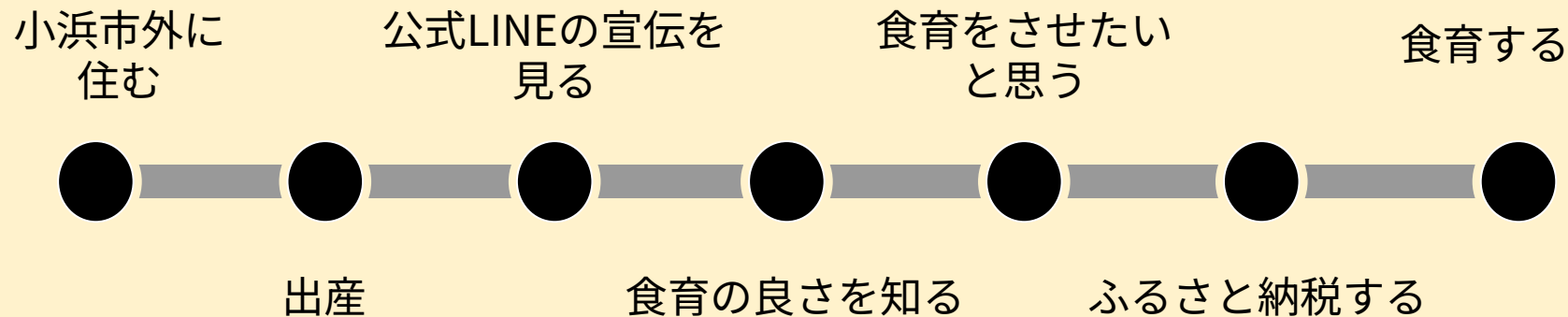


地域全体の食関連産業のレベル向上とそのことによる **地域内経済循環**
地域内でさらに良いものを作ろうとする機運が高まり、**食関連産業を支える人材育成**
魅力ある人材の輩出



ウェルビーイングの向上

施策②ふるさと納税



施策②ふるさと納税

返礼品の内容

導入用

(寄付額15,000円/返礼品4,500円)

鯖・動画・包丁・箸・
レシピ（なまぐさ汁）

リピーター用

(寄付額10,000円/返礼品3,000円)

小鯛・鯖・野菜・レシピ

・動画の内容

①食の3要素②箸の持ち方③包丁・まな板の使い方④火の使い方⑤魚のさばき方（鯖）⑥魚のさばき方（小鯛）※リピーター用
小浜市が売り出した季節に応じた産品を組み込む予定。

施策②ふるさと納税

【用途】

- ①キッズサポーターの給与
- ②地場産品給食など他の食育事業

【最低目標】

初年度約100個、次年度以降200個販売

(キッズ基礎編・キッズ拡大編・キッズMORE・ジュニアキッチンの現状を元に推計)



施策②ふるさと納税

PR方法

市の公式LINEを新設し、宣伝を行う



目的

公式LINEを通じて**定期的に宣伝**を行うことで
ふるさと納税の情報に触れる機会を増やし、
認知度を高める

登録方法

- ①市内のお店にQRコードを設置
登録者に特典を設ける等でインセンティブを付与
- ②都内のイベント（アンテナショップ）で宣伝

発信内容

公式LINE追加時に「市内在住」か「市外在住」を選択してもらい、セグメント配信でふるさと納税の情報を発信する

市内在住者向け

- ・市内食育イベント開催のお知らせ
- ・災害情報、ごみ情報

市外在住者向け

- ・**ふるさと納税**
 - ・市への来訪や移住に関する情報
- ※返礼品を過度に強調する広告に該当することを防ぐため

施策②ふるさと納税

先行事例（宮崎県都城市でのLINE広告活用例）

目的

広い利用者層への宣伝

ふるさと納税に興味を持ちやすい30~50代をターゲットに、市の知名度を高める

施策

- ・「肉と焼酎のふるさと都城」でブランディングし、LINE広告や返礼品を工夫
- ・ふるさと納税に関心がある方に広告が表示されるように、**趣味・関心セグメントでのターゲティング**を活用
- ・「都城市ふるさと納税振興協議会」の設置

結果

他媒体と比べてクリック率が高い

ターゲティングによりクリック率が2.3倍増加

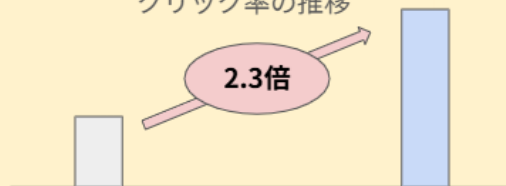


・幅広い世代のユーザー
・特定のポータルサイトに依存しない人物も多い



ターゲティング等を活用し、ふるさと納税に興味を持つ人に広く宣伝できる

クリック率の推移



施策②ふるさと納税

(参考) 地方自治体における公式LINE活用

LINEヤフー株式会社が、**地方自治体に無償で提供**する「地方公共団体プラン」
自治体ごとに住民への保険や防災情報の広報、市外在住者へ観光やふるさと納税のPRを
行い、職員の負担軽減及び広報活動に活用されている

※一部機能はオプションとして追加購入

用途

- ・情報発信
(一斉配信、セグメント配信)
- ・防災・減災
(AI Chatbotを活用した避難情報提供など)
- ・キャッシュレス
(LINEアカウント上での支払い、公共料金の支払い)
- ・LINE相談窓口
(いじめ相談など)
- ・行政手続き
(住民票、粗大ごみ収集など)

施策②ふるさと納税

まとめ

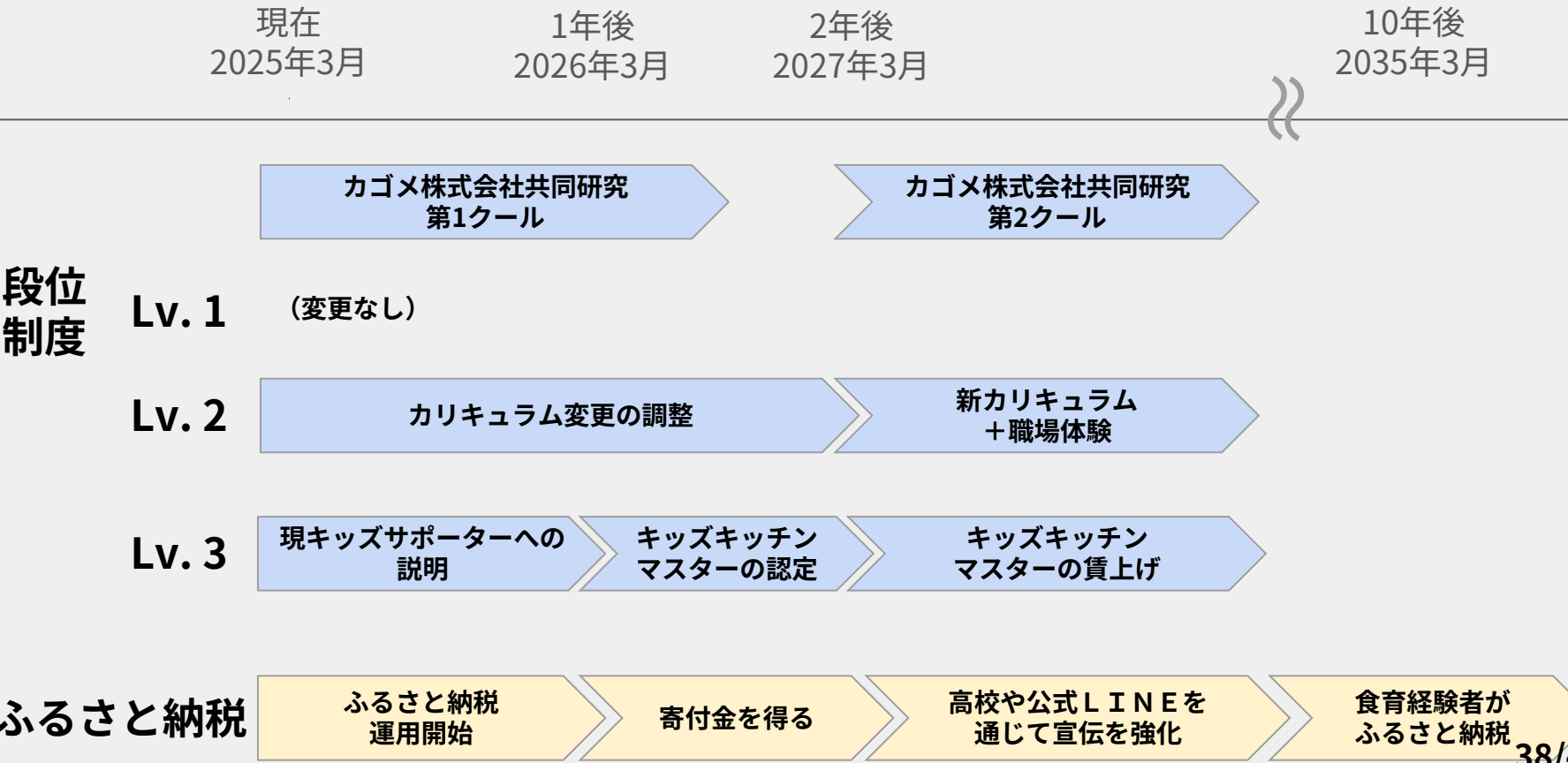
小浜市ならではの食育を野菜や魚など市の特産品を用いて家庭で体験できる
「お家でできるキッズキッチン」

個人に対する食育・地域経済のための食育

「繋がり」
どこにいても小浜市との関わり

「居場所・舞台」
地域経済での貢献の場

施策全体のスケジュール



目次

1. 現状分析

- a. 小浜市様に取り組んでいること
- b. FWやヒアリングより

2. 課題

3. 理想状態

4. ウェルビーイング（前提）

5. 施策(段位制度・ふるさと納税)

6. ウェルビーイング（施策の効果）

7. まとめ

ウェルビーイング（WB） 【施策の効果】

施策全体の目標

持続可能な「食で人々の幸せと地域の豊かさが実感できるまち」の実現

施策①と②に共通して改善が期待される指標

- ・小浜市に愛着や誇りを感じますか
- ・小浜市の未来に希望を感じますか



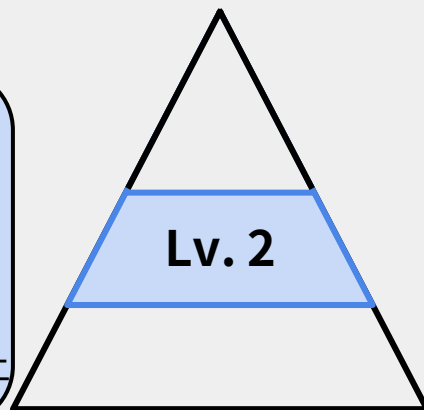
ウェルビーイング（WB） 【施策の効果】

施策①段位制度＜レベル２＞

ターゲット：小浜市に通学している**高校生**

期待される効果：

- **食への意識**が向上
- 食のまちづくりに参画しているという意識が生まれる
- 段位制度として認定されるとともに**指導者**となることで、自己肯定感が向上



改善が期待される指標

- ・ 栄養バランスを保つことや、野菜摂取量を増やすこと、また、甘い物や油の多い物を食べすぎないなど、**自分自身や家族の健康**を意識して**食生活**に気をつけていますか
- ・ 日常の食生活において、どのくらい**地元食材**を使用しますか
- ・ 地域の**食育の推進**にかかわるボランティア活動に、機会があれば参加したいと思いますか
- ・ 小浜市は、食に関する文化や自然、食材、体験など食環境が**他の地域より豊か**だと思いますか
- ・ 住んでいる地域に**自分の居場所**があると感じますか
- ・ 住んでいる地域に自己表現ができる場や、**活躍できる場**があると感じますか

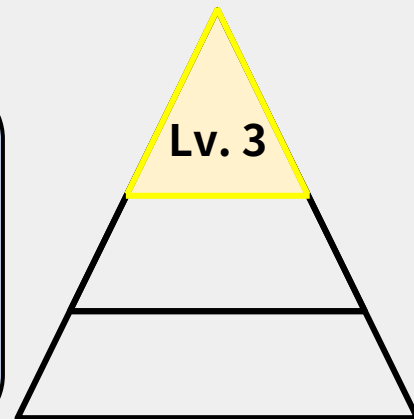
ウェルビーイング（WB） 【施策の効果】

施策①段位制度＜レベル3＞

ターゲット：大学生以上の小浜市民

期待される効果：

- 食に関するより高レベルの知識の習得
- 食のまちづくりに参画しているという意識が生まれる
- 段位制度として認定されるとともに指導者となることで、自己肯定感が向上



改善が期待される指標

※レベル2で挙げた指標に加えて

- ・ 食品を購入する際に、農薬や食品添加物などについて意識していますか
- ・ 自分の仕事は、人々の生活をより良くすることにつながっていると思いますか

ウェルビーイング（WB） 【施策の効果】

施策①ふるさと納税

ターゲット：市外に住む30代（と彼らの子供たち）

期待される効果：

- 小浜市の食文化や特産品の魅力が市内外に周知される
- ふるさと納税を通じて市内外のつながりが生まれ、小浜市の関係人口が増える
→人口減少社会に置ける地域の希望となる
- 地場産品の売上がアップすることで、食関連産業のレベルが向上し地域内経済循環が生まれる
→市民の活躍の場が拡大

改善が期待される指標

- ・小浜市の郷土料理や特産品の中で、好きなものがありますか
- ・小浜市は、食に関する文化や自然、食材、体験など食環境が他の地域より豊かだと思いますか
- ・住んでいる地域に自分の居場所があると感じますか
- ・住んでいる地域に自己表現ができる場や、活躍できる場があると感じますか
- ・自分の子どもに小浜市に住んでほしいと思いますか

目次

1. 現状分析
 - a. 小浜市様に取り組んでいること
 - b. FWやヒアリングより
2. 課題
3. 理想状態
4. ウェルビーイング（前提）
5. 施策(段位制度・ふるさと納税)
6. ウェルビーイング（施策の効果）
7. まとめ

まとめ

